

ヤマトニュース



「祇園にて」PHOTO by S.YAMAOKA

新年を迎えて 代表取締役社長 川西 勝三

2009年度 **Yamato** 研修会を開催

JAPAN PACK AWARDS 審査委員長賞受賞! **Dataweigh** SIGMA F1-Frontier ADW-F320SV

展示会レポート | JAPAN PACK 2009
PMMI展

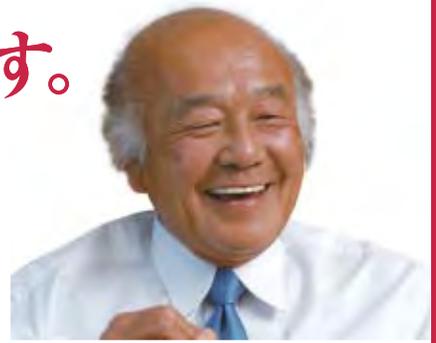
製品情報 | アップグレード版αPLUSシリーズ
残菜計量システム SLW-100
防水形デジタル台はかり DP-6700シリーズ

トピックス | 川西社長 5年連続国体入賞!

2010.1

No. 401

あけましておめでとうございます。



代表取締役社長
川西 勝三

「新年を迎えて」

世界的な経済の減速の中で、外需、内需の落ち込み、円高により、昨年度から大和製衡にとって非常に厳しい状況が続いています。一部には回復傾向が見られるともいわれますが、設備投資の本格的回復には程遠い状態となっています。いわば、100年に一度の嵐がまだ終焉していないわけですが、この嵐を乗り切るためには、ビジネスを創り上げることが第一歩となります。

商売は成功しなければなりません。商売の成功のためには商品企画が必要です。その商品企画を商売にするのがビジネス企画です。ビジネス企画においては、開発から販売までのすべてにビジネスとして成功するための着眼点があり、成果をあげるための要件が揃っていること、言い換えればはじめから答えを持っていなければなりません。成功するビジネス企画が多く存在することが、会社を良い方向に変えることとなります。

ヤマトは今までも、いろいろな技術革新を生み出し、その技術をもとに、データウェイΣF1フロンティア、次世代形トラックスケール、内臓脂肪計を企画し、ビジネス企画として練り上げ、ビジネス展開をおこなってきました。しかしながら今回のこの嵐においては、今までも増してビジネスを創り出していく必要があります。

そのためにヤマトは、無計測の計測化をキーワードとして生み出す革新技術とハンドリング技術、メカ技術における真似のできないノウハウをもとにして、お客様への提案力に磨きをかけ、これからも、お客様が本当に求める商品、システムを提供し続けます。

しかしながら、ビジネスは一過性では意味がありません。技術革新により販売革新を起こし新たな業界文化を創ること、加えて、特許戦略によって強化することで「永遠のビジネス」とすることが必要となります。

今吹き荒れている嵐は一時的なものではありません。永続的に解決を求められる嵐です。それに対する大和製衡の答えは「永遠ビジネス」で様々な問題を解決することであり、大和製衡が果たすべき社会的責任と考えています。

ところで、私事ながら、昨年度も趣味の馬術で新潟国体において6位に入賞し、5年連続で入賞を果たすことが出来ました。スポーツを通してしっかり分析し、自分でつくり上げたプロセスは、企業活動にも、自分の人生にも役に立ちます。スポーツ経営を実践することで「狙った獲物ははずさない」に挑戦し、常に将来を見据えた企業づくりに貢献し続けて参ります。

大和グループの力を結集して、ビジネスを創り出し、新たな飛躍の第一歩にしたいと思います。本年も、なお一層のご支援とご協力のほど、何卒よろしく願い申し上げます。



2009
年度

Yamato 研修会を開催

2009年度 Yamato 研修会を、全国の有力販売店様34社のご参加を賜り、9月2日に兵庫県神戸市のラヴィマーナ神戸にて開催いたしました。



2009年度 Yamato 研修会を、全国の有力販売店様34社のご参加を賜り、9月2日に兵庫県神戸市のラヴィマーナ神戸にて開催いたしました。

開会宣言・社員紹介の後、川西社長より2008年度売上げ拡大にご尽力いただいた販売店様に心よりの感謝を込め、感謝状と記念品を贈呈させていただきました。

そしてご出席各社のご代表として、旭川計量機株式会社 茶木社長様より謝辞をいただきました。

また、特別表彰の各賞につきましても、2008年度弊社の営業政策の展開と売上の向上に最も顕著な貢献をいただいた販売店様に対し、感謝を込めて表彰させていただきました。

このあと長尾事業部長より、2009年度普通はかり事業部方針を下記の通り発表いたしました。

「百年に一度の経済危機を乗り越えるための“一歩先行くビジネス提案”としまして、基本方針である、①シェア拡大の為の価格政策への取り組み、②新規市場開拓政策(目安市場への新たなビジネス造り)への取り組み、③従来市場開拓政策(定量市場へのNo.1技術の確立)への取り組みをビジネス提案の基本戦略として普通はかり事業を推進していく」。

新商品展示コーナーでは、販売店様と共に経済危機を乗り越えるためのビジネス提案としまして、実際の

工場ラインをイメージしたブースに商品展示を行い、新形TDW/DP・UDSのシステム商品を展示発表いたしました。また産機・自動機器製品では革新技術による次世代計量器のご提案と、NEWビジネスコーナーでは目安計量市場に向けた新たなビジネスを事例を交えて展示発表いたしました。

研修会の後、ラヴィマーナ神戸内のディナーショー会場において、皆様の日頃のご愛顧に感謝する懇親会を開催いたしました。

会場では、Yamato Music Festival Vol.9と題し、JAZZBAND/外山聖子(オペラ)/フルスシルバー(カントリー)をお迎えし、最高の演奏を楽しんでいただき、大変な盛り上がりの内に終えました。

翌3日は、ゴルフ組と観光組に分かれ、ゴルフは名門コース“広野ゴルフ倶楽部”でのプレーを、観光は水郷と古き商家のたたずまいの「近江八幡」を散策し、昼食は1日1組限定の古民家宿として名を馳せる東近江市にある「日登美山荘」にてお互いの親睦を深めていただきました。

2日間にわたる研修会・懇親会・観光を無事終了することが出来ました事は、ご参加いただきました皆様のご協力の賜と深く感謝いたしております。

2009年10月5日～7日までの3日間、アメリカ・ネバダ州ラスベガス(Las Vegas Convention Center)において「Pack Expo 2009」が開催され、弊社からは米国子会社であるYamato Scale Corporationを通じて出展を実施し、**Yamato**ブランドのPRをおこないました。

Pack Expoは、ラスベガスとシカゴにおいて毎年交互に開催されている包装関連の機械工業展であり、1,500社を超える米国国内外の企業が出展し、来場者数は毎年3万名以上を数える米国で最も大きな包装関連機械工業展の一つです。

金融機関の破たんやサブプライムローン問題といった金融不安の影響が影を落とした今年は、出展社数・入場者数ともに前回開催時の2007年度よりも減少し、出展社数は1,140社(2007年度は1,281社)、来場者数も前回から3,000名ほど減少の約34,000名に留まったものの、予想以上に多くの来場者に足を運んでいただき、にぎわいを見せておりました。

弊社ブースでは、**Dataweigh**  **SIGMA F1-Frontier** シリーズをはじめ、各種冷凍食品や少量計量用の組合せはかりを展示して、例年よりも多くの来場者に足を運んでいただき、既に当社製品をお使いの

ユーザー様だけでなく、**Yamato**に興味を持っておられるお客様など、たいへん多くの方々に今後のシステム最適化を見据えた各技術のスマートな使いこなしを、展示機器や映像を通じて体感いただくことができました。

市場環境に目をやると、アジア系企業の市場参入によって比較的安価な設備機器の出展が目立つようになり、われわれ包装関連機械メーカーの競争は激化しておりますが、弊社の社是である「信頼・技術・創造」を全うすべく、「お客様から満足される製品を提供する」ことで、アメリカだけにとどまらず全世界に向けて信頼できる**Yamato**ブランドを提供し、お客様へのより最適なシステム提案に努めて参りたいと念願しております。



JAPAN PACK 2009（2009年日本国際包装機械展）が、10月20日～23日までの4日間、「かえよう、かわろう、包装の未来はジャパンパックから」をテーマに東京有明の東京国際展示場（東京ビッグサイト）にて開催され、国内外18ヶ国から299社が出展し、89,483名の入場者がありました。

Yamatoは、東5ホールに40小間のスペースを構え「革新的計量技術によるトータルソリューション」をテーマに展示を行いました。

メイン展示は、**Dataweigh**  **SIGMA F1-Frontier** “ADW-F320SV”で、革新的コンセプトにより70回／分×3＝210回／分の3点同時排出による、多彩な包装形態の可能性をアピールしました。

この“ADW-F320SV”は、今回初の試みとして優れた製品に対し賞賛を与えるものとした、「JAPAN PACK AWARDS」で「審査委員長賞」を受賞しました。

また、4品種ミックス仕様の“ADW-324MD”と縦ピロー包装機を連動し「ヘッダ付異種4連包装品」を100回／分で高速計量包装する実演を行いました。1台のデータウェイで色々なパターンでの「ミックス計量包装」「連包包装」が高能力/高精度で運転できる事をアピールし、多くのお客様より賞賛の声を頂戴

いたしました。

昨今の食品業界で最も関心の高い「食の安心安全」をお約束する検査機器といたしまして、「簡単調整」「簡単操作」「簡単メンテナンス」と「環境対応」をコンセプトに開発を行いました、新製品の“Eシリーズオートチェッカ”は液晶カラータッチパネルの操作性、食品対応のステンレスボディに加え、使う場所を選ばないその汎用性に共感をいただき、多くの引き合いをいただきました。

また、新形X線異物検査装置に今回最新の「割れ欠けソフト」を搭載した“Vシリーズ”には、多くのお客様からの問い合わせをいただきました。

その他、省スペースで省力化が実現できる、ケースパッカー“FCP-550VA”、場所を選ばず、歩留まりと生産性の向上を可能とした卓上データウェイ“TDW2102WP”、コンタミを防止することのできる“クリーンパッカースケール”や、ノンストップで計量できる“次世代トラックスケール”も展示し、たくさんのお客様にご来場いただきました。

ご来場いただきましたお客様、誠にありがとうございました。

当社は、今後も多くのお客様に貢献できる革新的な計量技術の開発に努めてまいります。



Dataweigh SIGMA F1-Frontier ADW-F320SV

Yamatoは、「計量機は包装機への供給装置」と位置付けし、計量機の技術により「包装機的能力を最大限に活用する」ことを基本思想とした、独自のコンセプト「下基準」に代表される組合せ計量機 **Dataweigh**  **SIGMA F1-Frontier** シリーズを開発・販売してまいりました。この本機のコンセプト「下基準」は、計量後の被計量物の間隔(プロダクトウィンドウ)が十分に確保できるため、高速計量においても包装機側のシール不良が軽減されるばかりか、ピンホールといった包装不良の軽減にも効果があり、ユーザー様の歩留向上はもとより、環境への取り組みにも貢献いたします。

今回は、包装機にやさしい **Dataweigh**  **SIGMA F1-Frontier** シリーズの中で、縦型ピロー包装機だけでなく、より多様な包装システムに対応する、新モデルとして開発いたしましたADW-F320SVをご紹介します。

ADW-F320SVは、従来の組合せ計量機の基本原理を覆す、**Yamato**独自の3つの「独立排出経路」と「独立排出ゲート」を持ち、「3点同時排出」を可能といたしました。この技術は組合せ計量機では供給が難しいとさ

れた、多列式の各種包装機(横型包装機、カップ包装機、深絞り包装機、トレイ包装機)への供給を1台で難なく可能といたします。また、**Dataweigh**  **SIGMA F1-Frontier**の新技术「同時組合せ」は一つの計量サイクルで、3つの組合せ計量を同時に行い、組合せ精度を大幅に向上することを実現いたしました。ADW-F320SVのコンセプト「下基準」に基づく「3点同時排出機能」は、計量包装システムの生産性を高めるだけでなく、ユーザー様に幅広いパッケージングの選択肢を提供し、商品企画の可能性を大きく広げてまいります。

本機はJAPAN PACK 2009において優れた製品に対し、賞賛を与える「JAPAN PACK AWARDS」で「審査委員長賞」を受賞いたしました。



防水形デジタル台はかり DP-6700シリーズ

DP-6700N	(検定外品)	標準価格 92,000円(税抜)
DP-6700K	(検定品)	標準価格 95,000円(税抜)
DP-6700M	水産型(検定品)	標準価格 95,000円(税抜)

防水・防塵等級IP65準拠のオールステンレスボディ。
食品加工場をはじめ、飲料品の原料製造業、水産卸市場、生産農家などあらゆる業界にご提案いただける機能満載のデジタル台はかりです。



特長 1 定量計量機能

一般的な計量器による定量計量作業は、目標値になるように計量作業を行います。DP-6700シリーズに標準搭載しております定量計量機能では、最初に目標値をマイナス表示し0kg表示になるよう計量作業を行います。常に計量目標値が0kgになるよう計量作業を行いますので、誰でも間違えることなく簡単に計量作業を行うことができます。

アップグレード アルファプラスシリーズ

汎用性が高く、優れたコストパフォーマンスのアルファシリーズがさらにアップグレードされました。このアルファシリーズには10連、14連、20連のモデルがあります。

全世界で長年培った技術と経験から開発されたアルファシリーズは生産から出荷まで全ての品質を最高レベルで確保するとともに、販売・サービスネットワークによりお客様へ安心のサポートをご提供いたします。



アップグレードポイント

1 カラータッチスクリーン式表示部

カラータッチスクリーン式の表示部は一目でわかりやすく運転操作は極めて容易で、離れた場所からでも運転状況が確認できます。表示言語は16カ国語の中から自由に選べ、あらゆるオペレーターに対応できます。



2 スプリングレス・コーナールのホッパー採用

コーナールでスプリングレスのホッパーは商品が付着しにくく、また力を掛けなくても簡単に清掃ができるため清掃時間を大幅に短縮し、ダウンタイムを減少させます。



3 重量センサの採用

トップコーン上の被計量物の重量をロードセルで検知し、表示画面上で重量表示できます。そのため被計量物の流れが認識しやすく安定供給が可能となり高速・高精度運転を実現します。

4 SUS製コモンベッド(オプション)

製品への異物混入を防ぎ、清掃性に優れています。

特長 2 チェッカ機能

検品作業時において規定重量内か否かを3色(赤・青・黄)のLEDランプにより判別することができますので、作業効率が飛躍的に向上します。また、内蔵ブザー(工場オプション)にも対応可能です。



判別色赤色:軽量

判別色青色:適量

判別色黄色:過量

特長 3 ランク選別機能

従来の加算式ランク選別に加え、新たに減算式ランク選別を搭載いたしました。減算式ランク選別では、沢山ある品物の中から抜き取るだけで、抜き取られた品物がどのランクであるかを液晶表示とLEDランプにより即座に判別いたしますので、正確でスピーディーな選別作業が実現できます。さらに、ランク結果の音声出力(工場オプション)も可能です。

特長 4 ワイヤレス通信機能(工場オプション)

Bluetooth™無線通信またはZBee無線通信により、計量データをパソコンに取り込むことで、計量データの集計・分析・管理が簡単に行えます。また、Bluetooth™無線通信を利用した無線プリンタにも対応可能です。ZBee無線通信では、建物間や階層間での通信が可能となりました。また、最大30台のはかりを1台のパソコンで管理することが可能となりました。

特長 5 USBメモリ機能(工場オプション)

USBメモリを使用し計量データを簡単にパソコンへ取り込むことができます。

基準適合証印 **残菜計量システム SLW-100**

近年の学校給食は、各地区の給食センターが複数校の給食を大量にまとめて作り、各学校に配送しています。そのため残菜が多く、深刻な社会問題・環境問題を生み出しています。大和製衡の「残菜計量システム」は、残菜のデータを収集・集計し、学童の栄養摂取の状況を把握することで献立作りをサポートします。



「残菜計量システム」の導入

パソコンとの連携

「残菜計量システム」導入で残菜の悩みを解決!

各学校から持ち帰った残菜の容器に記載されている学校名、学年、クラス、容器No(一度登録するだけでOK!)をタッチパネルに入力し、残菜の重さを量れば、操作盤にデータが収集されます。必要に応じてUSBでパソコンにデータ転送が可能です。



川西社長 5年連続国体入賞

新潟県で開催されました第64回国民体育大会におきまして、当社社長の川西勝三が2009年10月2日「馬場馬術競技」で6位入賞、10月4日「自由演技馬場馬術競技」で7位入賞し、5年連続国体入賞を果たしました。

スポーツ魂“狙った獲物ははずさない”を経営の信条にして、目標に将来を見据えた企業づくりに挑戦し続けております。

